

令和4年度 学校関係者評価書(山本小学校)

4段階評定 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

区分	No.	観 点	学校評価		自己評価結果の考察・分析 (○成果 ●課題及び対策)	学校関係者評価		委員の意見
			観 点	総 合		観 点	総 合	
学校全体として	1	教育目標や教育方針の発信	3.3		○学校便りやHPを通して、保護者や地域に教育目標や方針を伝えることができた。 ●コロナにより参観日等が中止になり説明する機会が不足した。今後は、中止になることも想定した対応を考慮する。	3.3		・学校便りの内容が充実しており、高く評価したい。 ・学校便りが回覧板にも入っており、保護者だけでなく、地域の方々も学校のことを知ることができた。
	2	必要な情報発信	3.4		○学校からの文書、安心安全メール、学校便りやHPなどを通じて、学校行事や各種会議の情報を伝えることができた。 ○今年度は、学校評価を安心安全メールを活用して行ったが、回答が早く回答率も高かった。	4		・不審なメール等については、町教委等とも連携して、必要な情報は保護者に伝えることが大切である。
	3	いじめ防止	3.6		○毎月のアンケート、必要に応じた教育相談、年間2回全児童を対象に教育相談を行い、いじめの早期発見に努めた。 ○気になる事例については、全職員で共通理解を図るとともに、家庭と連携しながら問題の解決を図ってきた。	3		・地域住民が交替で青バトに乗り、不審者対策の見回りに参加していただいている。学校と情報交換しながら地域で児童の安全を見守る体制が整っている。
	4	教育環境の整備	3.5		○緑化環境においては、みどりの少年団活動を中心に、児童が中心となって、花いっぱい学校づくりができています。 ○校内環境づくりにおいては、全職員で整理整頓に心掛けるとともに、作品掲示なども工夫することができた。	3.7		・地域と学校のつながりが素晴らしい。
	5	学校行事の内容や実施	3.7		○これまでの反省に基づいて、実施時期や実施方法などを工夫することにより、各行事がスムーズに実施できた。	4		・いつもきれいな草花が見られ、学校の雰囲気がとてもよい。
	6	新型コロナウイルスに対応した教育活動	3.6		○運動会の午前中開催など、新型コロナウイルス感染状況に対応しながら学校行事を運営することができた。 ○音楽室の机にフェンスシールドを置いたり、同じ向きで歌わないなどの工夫により、感染防止を図ることができた。	4		・作品に教師のコメントだけでなく、児童同士の感想が付箋で貼られており、児童間で互いの作品に興味や関心をもっていることが感じられる。 ・新型コロナウイルスの状況に応じた弾力的な学校行事等の運営が行われている。
確かな学力の定着	7	わかる・できる授業づくり	3.4		○教材研究を十分にを行い、児童にとって分かりやすい授業づくりを目指し、全職員で取り組んできた。 ●少人数の特性を生かした指導の工夫改善及び個に応じた指導の充実をさらに図っていく必要がある。	3.6		・授業参観の際に、楽しそうに授業を受けている子ども達を見て、教師の努力及び尽力を感じる。今後も、このような取組を継続していただきたい。
	8	家庭学習の充実	3.4		○授業で理解した内容の定着を図るため、プリント問題やドリル等を活用し、学習内容の定着を図ってきた。 ●家庭学習の習慣が十分に身に付いていない児童に対しては、保護者と連携した家庭学習の習慣づくりが必要である。	3.3		・授業を見て回ると、先生達がきめ細かく指導している。
	9	読解力向上	3.4		○読解力を高めるための授業在り方について、年間を通して研修会を重ねながら、実践的な取組を行ってきた。 ●さらに研修を重ね、どの児童にも確実に読解力の向上を図ることができる手立ての構築が必要である。	3.3		・少人数であることを逆に利点にしているところが評価できる。確かな学力の定着に対して、学校が熱心に取り組んでいる。
	10	ICTの活用	3.6		○校内研修やICT支援員の配置により、教師及び児童のスキルが高まり、授業での活用場面が大きく増えた。 ●学校と家庭を結んでのオンライン授業ができるまでには、教師と児童のスキルがまだ十分ではない。	3.5		・6年生の全国学力調査の結果がよかったことも素晴らしい。
	11	読書活動の推進	3.5		○図書支援員からの働きかけや読書フェスティバルの開催などにより、児童の読書量が昨年度より大幅に伸びた。 ●読書量に個人差が見られるため、読書活動推進のための働きかけを学校と家庭とが連携して行っていく必要がある。	3.3		・授業と関連した毎日の家庭学習の課題等が出されることは、効果的である。
	12	作文指導の充実	3.6		○宮日新聞への投稿や地域広報誌による紹介により、作文が紹介される機会が増え、児童の書く意欲が高まった。 ●全員が掲載されるわけではないので、学級での作文の発表の機会や学級通信などでの紹介の場を充実させる必要がある。	3.6		・図書室の中が楽しい雰囲気、子ども達がわくわくしながら図書室を利用できるように工夫されている。
豊かな心の育成	13	基本的な生活習慣の確立	2.7		○●履き物をそろえるはよくできているが、元気のよいあいさつや返事には、個人差が見られ、まだ改善の余地がある。 ●基本的な生活習慣づくりにおいては、学校と家庭とがより連携して取り組んでいく必要がある。	2.6		・基本的な生活習慣においては、家庭での積み重ねが大切となる。学校できている、家に帰るとできなくなる傾向が見られる。
	14	命を大切に育てる態度の育成	3.4		○「SOSの出し方」の授業や命に関する動画視聴を全学年で行うことで、命を大切に育てる態度の育成を図ってきた。 ○「山本小学校ならではの命を守るためのしおり」を学校と保護者及び地域が連携して作成・活用することができた。	4		・学校と家庭・地域社会とのつながりによってよい関係性が築かれているので、基本的な生活習慣においては、家庭との連携を密にしていきたい。
	15	思いやりの心の育成	3.4		○「心の週間」を毎月設定し、言われて嬉しかった言葉を校内放送で紹介し合うなどして、思いやりの心を育ててきた。 ○「人に親切にしよう」という月目標のもと、人権の授業を全学年で実施するなど、思いやりの大切さを学ばせた。	3.3		・個人差は感じるが、挨拶は大変よくできている。
	16	自己肯定感の育成	3.3		○学習や生活において、児童を称賛する場を重視し、一人一人が自分のよさに気付くことができるようにしてきた。 ●コロナ禍で保護者と直接話す機会が減少しがちで、家庭と連携した取組が不十分だった。	3.4		・自分のよさに気付かせる取組は、大変評価できる。
	17	安全・防災教育の充実	3.5		○火災や水害、不審者対応などの避難訓練や交通安全などを通じて、自分の命は自分で守る態度を育てることができた。 ●家庭や地域においても自分の命は自分で守る態度が身に付くよう、保護者や地域との連携をさらに図る必要がある。	3.3		・山本小学校の児童は、挨拶が大変よいと地域でも評判である。今後も、学校と地域が一体となった指導を行う必要がある。
	18	郷土愛・地域貢献	3.3		○3年生の地域学習や6年生の「ザ・山6フェスティバル」など、地域を知り、地域貢献を図る学習が展開できた。 ●コロナの影響で地域での行事が中止になることが多く、児童が参加したくても地域行事へ参加できないケースも多かった。	3.6		・「山本小学校ならではの児童の命を守るためのしおり」など、学校と保護者、地域の連携により、児童の安全意識を高める素晴らしいものができている。
健やかな体力の育成	19	体力向上	3.6		○運動会や持久走記録会に向けた練習などを通して、児童の体力を高めることを目指した取組ができた。 ●体力テストでは全国平均を超える種目も多かったが、平均値を下回るものについては、強化を図っていく必要がある。	4		・授業の合間に各種訓練を行うなど、防災教育をより充実させていきたい。
	20	体育学習の充実	3.6		○多様な運動に取り組む環境が整備されており、計画に従って多くの運動に楽しく取り組ませることができた。 ●昼休みなどに積極的に体を動かすことを好まない児童も見られるため、できるだけ外遊びの奨励を図る必要がある。	3.3		・体力テストにおいて落ち込みが大きいところについては、対策を講じて指導してほしい。
	21	健康教育の充実	3.1		○歯磨き指導や性に関する授業などに養護教諭も関わり、児童の健康づくりの意識を高めることができた。	3.6		・何かをする時に、みんなが協力してくれるのが本校及び地域の強みである。健やかな体力の育成についても、学校とより連携していきとよい。
	22	食育の充実	3.6		○毎日の校内放送で、給食の食材や栄養素、川南産の食材を紹介し、食育指導の充実を図ってきた。 ●「味覚の授業」で外部講師を招いた授業ができた。今後は、町栄養教諭を招いての食育指導も取り入れていく。	3	3.5	・給食では、川南町の食材が使用されているが、毎日、それが紹介されていることはとてもよい。 ・食は大切で、食を通して栄養素や農産物の種類などを知る機会があることは、子ども達にとって大変価値がある。
	23	新型コロナ感染対策	3.7		○マスクの着用、手洗いや消毒、換気の徹底を図ってきた結果、校内でのクラスター発生等を防ぐことができた。 ○必要に応じてコロナの感染状況を知らせたり、保護者との連絡や相談に迅速に対応したりするようにしてきた。	4		・新型コロナウイルスに対応した感染対策については大変だったと思う。学校の取組に感謝したい。